

皆様、おぼんでございます。

平成19年8月8日、川俣町に初めて着きました。

私は初めに少し心配しました。日本に来るまで、学校の先生ではないんですから、英語を教えることは、まったく新しい経験でした。

あの時、川俣に小学校が8つありました。2つの中学校、5つの幼稚園、そして保育園、働いた所が本当にたくさんでした。それで、すべての学校の大事な思い出があります。

たとえば...

- 川俣中学校では、特別支援学級の生徒と一緒に給食を食べたことを覚えています。黒板で名前を書きながらチョークを壊してしまった一番最初の授業を覚えています。文化祭や修学旅行を覚えています。
- 山木屋中学校では、一番最初の卒業式に行ったことを覚えています。夏に生徒たちと一緒にプールに泳いだり、冬にリンクでスケートしたり覚えています。職員室にいるたくさんの美しい先生方も覚えています。
- 福沢小学校では、子どもたちと一緒に稲刈りをしたことを覚えています。
- 小島小学校では、閉校の時のお礼会を覚えています。
- 川俣小学校では、休みの時間に子どもとオニゴッコをしたり、たくさんの友達となかよく過ごしたことを覚えています。
- 川俣南小学校では、初めて子どもが一輪車に乗るのを見たことを覚えています。
- 富田小学校では、私が子どもに教えることでありがとうって言う手紙を書いてくれましたことを覚えています。
- 福田小学校では、生徒たちが英語をしゃべってみて、できるとおどろいたことを覚えています。
- 飯坂小学校では、すごく小さかった子どもが大きくなったのを見ました。
- 山木屋小学校は、小山に立つ美しい学校をぜったい忘れないで、もう一度あそこで教えることを願います。

そして、すべてのすばらしい子どもたちを覚えています。未来の代表です。その子どもを教えることが、本当によろこばしい特典でした。すごい大人になったら、いつかもう一回会いたいと思っています。

川俣にもいつかに戻りたいです。そういうことを願います。5年間の支援を本当にありがとうございました。また会いましょう。さようなら。

平成24年8月9日
アレクサンダー・ウィリアム・リー・テイラー